

【別紙様式3】

再 評 価 実 施 事 業 調 書

番 号	3	事業名	佐倉市公共下水道事業		路線又は箇所名等			印旛処理区	
事業所管課		下水道課			事業主体			佐倉市	
事業化年度	昭和46年度	用地着手年度	-		工事着手年度	昭和46年度	再評価の理由	再評価実施後一定期間を経過したため	
					工事終了年度	平成53年度			
費用便益比 B/C	2.0	総費用	2,039億円	総便益	4,043億円	基準年	平成20年度	供用開始 年 度	昭和47年 度

【事業概要】

項目	全体計画(目標年次:H29)	事業計画(完成予定年次:H22)	現況(H20)
処理区域面積	5,061ha	2,638ha	2,443ha
処理人口	188,000人	173,775人	159,547人
事業費	752億円	309億円	289億円

【事業の進捗状況】

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度末時点の整備面積見込みは、事業計画2,638haに対して2,443haを整備し、整備率は93%である。
供用開始区域の接続状況	接続率は96%である。
地元情勢等	佐倉市議会の理解及び地元住民の理解・協力は得られている。

【社会経済情勢等】

指 標	状 況
社会経済情勢	新たな開発等もなく、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にない。
自然環境条件	水質汚濁に係る水質環境基準の新たな設定等、下水道事業に影響のある要因はない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

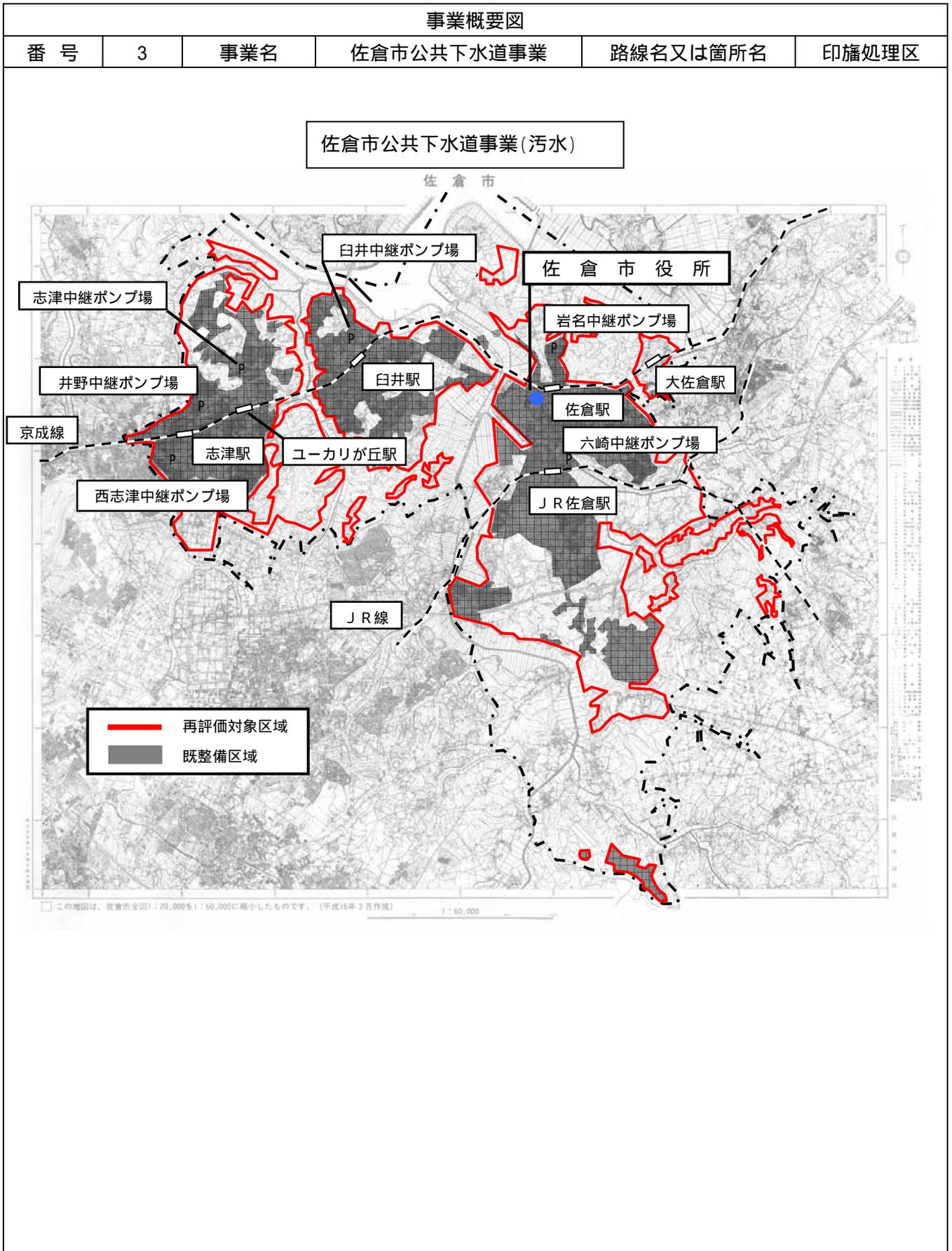
【コスト縮減・代替案】

指 標	状 況
コスト縮減	小口径塩ビ人孔・アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用によりコスト縮減に努めている。
代替案	本市の市街化の状況から、代替としての浄化槽整備よりも、下水道整備が最適。

【対応方針(案)】

佐倉市公共下水道事業は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当事業を継続していく方針です。

【別紙様式4】



【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番号	3	事業名	佐倉市公共下水道事業	路線又は箇所名等	印旛処理区	
事業化年度	昭和46年度	用地着手年度	-	工事着手年度	昭和46年度	
【再評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成10年度	供用開始 年度	昭和47年度	対応方針	継続	
B / C		総費用		総便益		
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 事業の継続が妥当とのご意見をいただいた。						
再評価時の進捗状況						
	計 画		進捗状況			
全体事業費	672億円		264億円			
用地取得面積	-		-			
供用面積(延長)	5,061ha		2,102ha			
【再々評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成20年度	供用開始 年度	昭和47年度	対応方針	継続	
B / C	2.0	総費用	2,039億円	総便益	4,043億円	
現在の進捗状況						
	計 画		進捗状況			
全体事業費	752億円		289億円			
用地取得面積	-		-			
供用面積(延長)	5,061ha		2,443ha			
再評価後の 経過及び 処理状況	再評価時から現在に至るまで、概ね順調に事業が進展している。					

【別紙様式3】

再 評 価 実 施 事 業 調 書

番 号	3	事業名	佐倉市公共下水道事業		路線又は箇所名等		上高野排水区他		
事業所管課		下水道課			事業主体		佐倉市		
事業化年度	昭和59年度	用地着手年度	-		工事着手年度	昭和60年度	再評価の理由	再評価実施後一定期間を経過したため	
					工事終了年度	平成28年度			
費用便益比 B/C	1.6～12.2	総費用	40億円	総便益	291億円	基準年	平成20年度	供用開始 年 度	平成5年度

【事業概要】

項目	全体計画(目標年次:H29)	事業計画(完成予定年次:H22)	現況(H20)
排水区域面積	311ha	288ha	113ha
処理人口	-	-	-
事業費	35億円	32億円	11億円

【事業の進捗状況】

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度末時点の整備面積見込みは、事業計画288haに対して113haを整備し、整備率は39%である。
供用開始区域の接続状況	
地元情勢等	佐倉市議会の理解及び地元住民の理解・協力は得られている。

【社会経済情勢等】

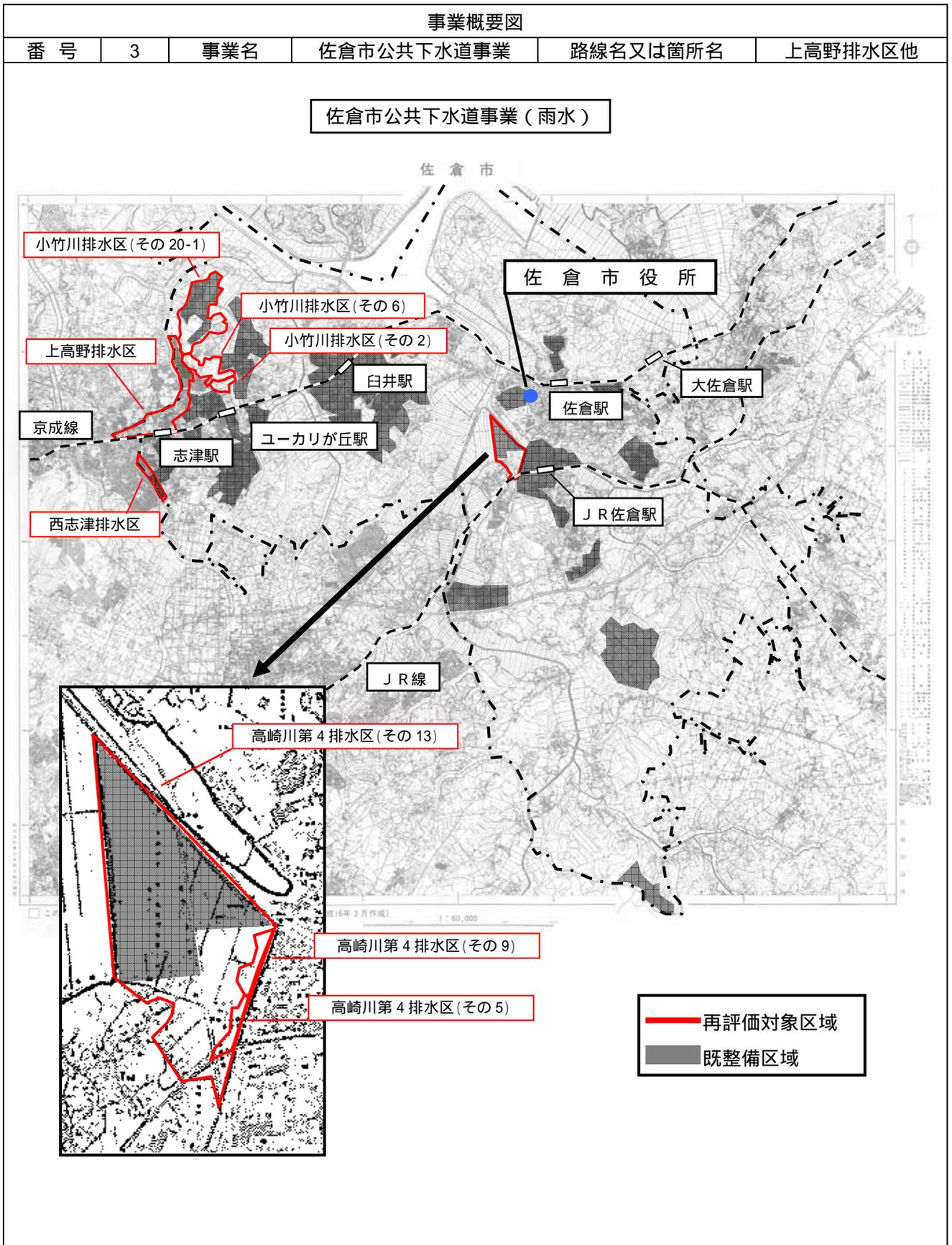
指 標	状 況
社会経済情勢	新たな開発等もなく、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にない。
自然環境条件	
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

【コスト縮減・代替案】

指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用によりコスト縮減に努めている。
代替案	

【対応方針(案)】

佐倉市公共下水道事業は、今後も整備が必要とされることから、当事業を継続していく方針です。



【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番号	3	事業名	佐倉市公共下水道事業	路線又は箇所名等	上高野排水区他	
事業化年度	昭和59年度	用地着手年度	-	工事着手年度	昭和60年度	
【再評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成10年度	供用開始 年度	平成5年度	対応方針	継続	
B / C		総費用		総便益		
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 事業の継続が妥当とのご意見をいただいた。						
再評価時の進捗状況						
	計 画		進捗状況			
全体事業費	30億円		3億円			
用地取得面積	-		-			
供用面積(延長)	311ha		45ha			
【再々評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成20年度	供用開始 年度	平成5年度	対応方針	継続	
B / C	1.6 ~ 12.2	総費用	40億円	総便益	291億円	
現在の進捗状況						
	計 画		進捗状況			
全体事業費	35億円		11億円			
用地取得面積	-		-			
供用面積(延長)	311ha		113ha			
再評価後の 経過及び 処理状況	汚水先行で整備してきたが、今後、汚水事業と並行して事業を展開したい。					